

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価報告書

令和3年10月

常総市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検及び評価の対象

令和2年度常総市教育運営方針に掲げる事務事業

3 点検及び評価の方法

- (1) 令和2年度常総市教育運営方針の重点事項に対する主な取組、成果等を取りまとめ、常総市教育審査委員の相互的な評価を受けた。
- (2) 令和2年度常総市教育運営方針に基づく当該年度の事務の管理及び執行の状況を項目別に整理し、達成度を3段階で自主点検するとともに、これに対する今後の方向性を示した上で、常総市教育審査委員が、その有効性を3段階で評価し、意見等を付した。

○ご意見をいただいた学識経験者

(順不同、敬称略)

梅 澤 浩	元茨城県立水海道第一高等学校長
秋 田 武	元常総市立三妻小学校長

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施したので、次のとおり報告する。

令和3年10月4日

常総市教育審査委員 梅 澤 浩

常総市教育審査委員 秋 田 武

各施策目標の重点事項に対する主な取組，成果等及び教育審査委員の評価

1 未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実

- 学習指導要領改訂の方向性を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」に向けた指導を充実し，教員の指導力の向上と指導のための環境整備，拡充を図る。（指導課）

【主な取組，成果等】

・カリキュラム・マネジメントに基づいた指導計画の改善や計画訪問，要請訪問を通じた「主体的・対話的で深い学び」に向けた指導について指導・助言を行った。

- 小学校外国語教育の充実に向けて指導力の向上を図る。（指導課）

【主な取組，成果等】

・要請訪問による小学校外国語科の指導方法と評価についての指導・助言を行った。市内小中学校へ11名のALT講師を計画的に派遣し，指導支援を行った。

- 土曜日補習教室（常総ほっとサタデー教室）の活用を促進させ，学習につまずきがみられる児童に対して，学校や保護者との連携を図りながら学習支援を行う。（指導課）

【主な取組，成果等】

・6月からではあったが，毎週火，水，木，土の4日間開室することができた。登録者数は162名であった。基礎学力の向上と学習習慣の定着を図ることができた。

また，指導員が日常的に学習相談を行い，信頼関係のもとで児童の学習支援を行うことができた。

2 安全でいきいき学べる教育環境の創造

- 学校施設の老朽化対策等を進め，教育環境の整備を推進する。（学校教育課）

【主な取組，成果等】

・石下西部統合幼稚園園舎改築工事がしゅん工し，新しい園舎（にじいろ幼稚園）が完成した。

- 危機意識を育てる防災教育を推進する。（指導課）

【主な取組，成果等】

・市内各小中学校において「危機管理マニュアル」の見直しと，防災計画のもとに不審者・火災・洪水等の避難訓練を実施し，防災意識の高揚を図った。

3 市民の豊かなくらしを支える生涯学習の推進

- それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会を充実させ、生涯にわたる学習の継続による一人ひとりの資質・能力の向上を目指す生涯学習を推進する。（生涯学習課）

【主な取組, 成果等】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い受講者の安全に配慮し、前期（6～11月）講座の開催は行わず、後期（12～3月）に6講座（しめ飾り作り・初心者ウクレレ・リフレッシュ体操・常総市を知ろう・かんたんDIY）を開催した。
- ・講座終了後は受講者自らが継続して学習できるよう自主運営の支援（組織づくりや会場借用手続きの助言）を行った。

- 地域交流センターを中心に関連施設と連携した事業を展開することにより、市内外の交流を促進する。（生涯学習課）

【主な取組, 成果等】

- ・車両の展示など交流イベントの会場として当館専用駐車場を提供し、周辺施設の利用促進を図った。
- ・当館のライトアップにより季節に応じた景観を演出し、地域のランドマークとしての注目度向上を図った。
- ・国土交通省関東整備局下館河川事務所と連携して、水害関連資料の展示スペースにマイ・タイムライン作成講座を体験できる機器を導入するなどして拡充を図った。

- 市民の自主的文化・芸術活動を支援する。また、再生の出来ない郷土遺産の保全、歴史的建造物、資料等の利活用を推進する。（生涯学習課）

【主な取組, 成果等】

- ・「長塚節文学賞」の作品を広く募集し、入選作品集の刊行も行うなど「節のふるさと常総」の文化を全国に発信した。

- 青少年育成常総市民会議や青少年相談員の全市的な連携、子ども会組織の円滑な運営を支援する。（生涯学習課）

【主な取組, 成果等】

- ・青少年育成常総市民会議および青少年相談員会との共催で、青少年の広い視野を持った考え方や柔軟な発想力・想像力の向上を図り、「少年の主張大会」の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。
- ・常総市子ども会育成連合会において、安全共済会事務を取り扱う等、子ども組織の円滑な運営を支援することにより、心身ともに健やかな青少年の育成を図った。

4 市民の健康を増進する生涯スポーツの振興

- 誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみ、健康づくりを進める生涯スポーツ社会の実現を目指し、安全で安心なスポーツ環境の提供及び整備に努める。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

- ・安全で安心なスポーツ環境を利用者に提供するため、また避難所としても指定されている石下総合体育館の消防設備の修繕を実施し、緊急時に対する充実も図った。

- 指定管理者との連携による社会体育施設の円滑な管理運営を図るとともに、民間のノウハウを活用したスポーツ事業を推進する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

- ・市民の誰もが気軽に参加できるようなスポーツ教室を実施するために、社会体育施設の指定管理者であるミズノグループに業務委託をすることで、事務の削減・効率化の実現ができた。

- また、ノウハウを生かしたことで、より充実した内容となり、質の高い適切な指導者の確保が可能になった。

5 健康を増進する食育の充実

- 安全・安心な学校給食の提供と食育の更なる推進を図る。(学校給食センター)

【主な取組, 成果等】

- ・給食センターの従事者に対し通常の保菌検査(毎月2回)やノロウイルス検査(10月～3月, 毎月1回)を実施。

- また、食材の放射能検査を月14回程度実施し、安全安心な学校給食を提供した。

- ・常総市産の旬の食材を活用し、地産地消の推進を図った。

- ・栄養教諭を中心に、給食時訪問、家庭教育学級(講話)を実施し、児童生徒及び保護者等への食育の推進を図った。

- ・食物アレルギーや宗教上の理由などで同じ給食を食べられない子供たちにも、みんなで一緒に食べる学校給食の楽しさの共有と多文化への相互理解のため、提供する食材に配慮した「みんなでスマイル給食の日」を実施した。

6 心豊かにする読書教育の充実

- 本に親しむ習慣の定着と質・量の向上を図る。(指導課)

【主な取組, 成果等】

・「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」を実施し、年間で小学校は50冊と300冊、中学校は30冊と150冊以上の本を読んだ児童生徒への県教育委員会教育長賞・県知事賞表彰を行った。達成者数、小学校の50冊で77.6%に達した。300冊と中学校の30冊、150冊は10%以下であった。

○ 市立図書館と学校図書館等との緊密な連携を図る。(図書館)

【主な取組, 成果等】

- ・学校図書館との連携としては、巡回貸出による資料の提供のほか、個別の要望に応え別途で貸出を行った。
- ・保育所、幼稚園、小学校に読み聞かせボランティアの派遣を予定していたが、コロナ感染症予防対策の観点から中止とし、ボランティア育成の研修会を2回開催しボランティアの技能向上に努めた。
- ・コロナ感染症予防対策の観点により学校からの職場体験及び図書館見学の依頼がなかったため、図書館見学の代わりに新たな試みとして図書館出前講座(小学校6校)を開催した。

○ 市民が知る喜びや学ぶ楽しさを実感できる図書館を目指し、幅広い資料の収集と、レファレンスサービス等の充実に努め、利用促進を図る。(図書館)

【主な取組, 成果等】

- ・図書6,853冊・CD252点を新たに収集し、雑誌は127タイトルの収集を継続した。
- ・相互貸借制度による他館からの借受は179件、当館からの貸出は73件であった。
- ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用やレファレンス協同データベース事業への参加、職員向け実務研修を行いレファレンスサービスの充実に努めた。
- ・茨城県独自の緊急事態宣言による長期臨時休館中に、児童生徒に向けてドライブスルー貸出を3回実施した。(貸出図書数は134冊)

7 安心して子育てできる就学前教育の充実

○ 幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図る。(指導課)

【主な取組, 成果等】

- ・保幼小接続のための合同研修を実施した。(本年度は市主催の集会による研修を見送り、書面にて研修動画の視聴とした。)
- ・小学校と幼児教育施設での相互授業参観及び情報交流を推進し、相互の接続カリキュラムを共有し、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を踏まえた円滑な接続を図った。

た。

○ 親子の絆づくりを考えた就学前家庭教育の充実を図る。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

・保育園, 幼稚園等において子どもとのかかわりや家庭生活のあり方を学習し, 家庭教育力の向上を図るために家庭学級の開級を目指したが, 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。

○ 公立幼稚園の統合を推進する。(学校教育課)

【主な取組, 成果等】

・公立幼稚園5園は, 東地区3園と西地区2園をそれぞれ1園ずつに統合(令和3年度から, 東部は「おひさま幼稚園」・西部は「にじいろ幼稚園」として開園)し, 幼稚園活動を行う。

「未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実」について

- コロナ禍により教育界を取り巻く環境が未曾有の状態になっている。毎日が初体験で試行錯誤、不安の連続であるが、将来を担う子供達の学びを保障するために、尽力を尽くしていただきたい。
- 主体的・対話的で深い学びのある授業を実現するため、計画訪問や要請訪問等を通して指導力の向上のための適切な指導・助言を行っていただきたい。
また、学習指導要領の趣旨に則った適切なカリキュラムの編成や、外国語教育・道徳教育の指導力の向上に努めていただきたい。
- 小学校外国語教育の充実のために担任とALTとの役割を明確にし、適切な指導と評価ができるよう指導・助言をしていただきたい。
- 常総ほっとサタデー教室は、学習のつまづきが見られる児童生徒に対して基礎学力の向上と学習の習慣づけの支援策として有効である。さらに保護者の経済的負担も軽減する。希望する多くの児童が利用できるよう、実施場所の拡大と指導員の更なる充実を図られたい。

「安全でいきいき学べる教育環境の創造」について

- 幼児・児童・生徒を預かる学校施設は充実した環境を整え、安全安心な教育環境でなければならない。今後も定期的、計画的、恒常的に安全点検・修繕等を適切に行い、事故等の未然防止に尽力いただきたい。
- 防災教育については、コロナ対策から講義動画の活用など工夫が見られる。今後も形骸化しないよう関係機関と連携しながら進めていただきたい。

「市民の豊かな暮らしを支える生涯学習の推進」について

- コロナ感染症の拡大に伴い多くの学習講座の開催が見送られたが、次年度に向け魅力的な講座を開催できるよう準備を進められたい。
- 生涯にわたって学ぶ楽しさの機会を設け充実することは、一人ひとりの生きがいや能力を増幅させるために大切な取り組みである。公民館、生涯学習センターで開講されている講座には、設置講座のマンネリ化、受講者の高齢化、固定化等の課題もあるが、これらを

克服し継続して事業を進めていただきたい。

- 地域交流センターのライトアップについては、市広報誌やさまざまな方法で市民に対し周知をしていただきたい。
- 地域交流センターの展示物のわかりやすい解説シートの作成や、他の関係機関と連携した企画展の実施など歴史資料等の有効活用を図られたい。
- 市民の誇りである郷土の歴史的遺産の保全や活用は、郷土を愛する心の表れである。特に「長塚節文学賞」は応募者も多くなり、全国的に関心が持たれている。
一方で地元での「長塚節」に対する関心度は低い傾向であるため、作品募集などを通して更なる地域の伝統・文化に目を向ける機会や、総合的な学習の時間の中で「長塚節を調べる研究時間」等を設けるなどの工夫をしていただきたい。
- 少年の主張大会は、多くの人の前で自分の考えを述べる絶好の機会である。今後も生徒が人前で話す勇気、柔軟な思考力、発想力を養うために継続を図られたい。コロナによる未開催は残念であった。

「市民の健康を増進する生涯スポーツの振興」について

- 市民が生涯を通じてスポーツを楽しみ、市民がふれあい、市民相互の交流や健康づくりを促すためには、安全安心なスポーツ環境の整備が重要であり、施設の定期的な点検修理等を実施していただきたい。
また、日常的にできる健康づくりについても、情報の提供をしていただきたい。
- 経費削減、施設管理、専門的な指導等メリットの多い指定管理者制度を有効に活かし、市民の健康の増進を図られたい。

「健康を増進する食育の充実」について

- 給食センター従事者の体調管理、設備の定期的な点検、食材選定、食物アレルギーを持つ児童生徒の対応等と取り組む業務は多岐にわたっているが、学校給食に対する最大の願いは、児童生徒の成長と命を守る安全安心な給食を提供することであるので、十分に注意していただきたい。
また、様々な機会を通じて、保護者への食育の推進に当たられたい。
- 「みんなでスマイル給食の日」は、みんなで一緒に食べる学校給食の楽しさを味わうことができるため、引き続き継続して事業を進めていただきたい。

「心豊かにする読書教育の充実」について

- 「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」では、小学生の達成率は高いが、中学生の達成率が低いことから読書推進のための方法を工夫されたい。
- 充実した図書館の存在は、地域の文化水準と大いに相関関係があり、地域文化の源泉である。多くの来館者を得るためには最近注目されている「喫茶室（ティーサロン）」の併設等を検討されたい。
- 読み聞かせやブックトークなど様々な工夫をしながら市立図書館と学校図書館の連携を更に推進されたい。
- 広く市民が図書館を利用できるよう地区公民館や文化センターなどを活用した巡回図書等についても検討されたい。
- レファレンスサービスは、図書館の重要なサービスの一つであり、専門的な知識を持った司書の育成並びに十分な配置が必要であると考ええる。

「安心して子育てできる就学前教育の充実」について

- 幼児教育から小学校教育へ、小学校教育から中学校教育へのスムーズな接続は、子育て中の親にとって最大の関心事である。「保幼小中接続のための合同演習」を定期的、計画的に行い、保護者の負担を少しでも軽減していただきたい。
- 保護者を集めての就学前家庭教育学級の実施だけではなく、啓発のための資料配付等も検討されたい。
- 公立幼稚園の統合後の施設については、保護者のみでなく地域住民の意見も聴取し検討されたい。

個別事業に対する主な取組, 成果等及び教育審査委員の評価

達成度	計画又は目標を	有効性
○	達成又は概ね達成	◎ 成果がある
△	及ばず	○ 一定の成果がある
×	実施できず	×
		× 成果がほとんどない

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見

1 未来に夢をもち「生きる力」を育む 学校教育の充実						
①学校教育内容の充実						
	新たな教育課題への対応	・教育課題に対応する市独自の学校活性化加配講師, 教育補助員や外国人児童生徒支援員を配置し, 効果的な活用を図っている。 ・適応指導教室と学校との連携を図ることで, 不登校児童生徒への支援にあたっている。	○	継続	◎	・市独自の学校活性化加配講師や教育補助員, 外国人児童生徒支援員を今後も適切に配置して行く必要がある。 ・小学校高学年において教科担任制を進めるため全校への理科専門教員等の配置に努められたい。
	基礎学力の向上	・土曜日補習教室(常総ほっとサタデー教室)を開室することで, 学習のつまずきを補い, 学習習慣が身に付くように支援している。	○	継続	◎	・地域人材を活用した体験的学習を充実させるため市全体の人材バンクの作成が必要である。
	体験的地域学習の展開	・中学生議会を開催し, 中学生の視点から市政へ提案することで, 市政を身近なものとして捉えられる機会としているが, R2年度は感染防止対策として中止とした。 ・地域の環境や資源を教材に, 地域の人材を活用する体験学習を充実させる。	△	継続	○	・指導法の研修を充実させ端末の有効活用のための支援を図っていただきたい。 ・ALTの有効活用を図りながら発達段階に応じた学習の充実を図られたい。
	情報化社会への対応	・一人一台端末の導入にあたり, 端末を活用した指導方法の研修の充実を図っている。	○	継続	◎	・早期の教育相談を通して適切な就学指導を実施していただきたい。
	交流教育・国際理解教育の推進	・外国語活動・外国語科の授業において, 外国人ALTの協力を得ながら, 言葉や異文化の違いについて理解を深めた。	○	継続	◎	・計画訪問や要請訪問等を通して各校の課題に対して適切な助言・指導を継続されたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	特別支援教育の充実	・市保健推進課や市内幼稚園・保育園等の関係施設と連携し、年長児の保護者（希望者）との就学相談を実施した。学校見学の機会を提供し、適切な就学先が見いだせるよう助言・支援した。	○	継続	◎	
	教職員の育成	・学校の要請に基づき、教科等の課題解決のための助言・指導を適宜行った。 ・「JOSO若手教員アカデミー」（希望者を対象に月一回程度開催）は本年度は感染防止対策の視点から開催を見合わせた。	△	継続	◎	
②	健康な児童生徒の育成					・スクールカウンセラーや教育相談員と児童、生徒、保護者、教員との連携を密にして、それぞれの状況に応じた適切な支援を継続する必要がある。
	教育相談の充実	・適応指導教室にスクールカウンセラーを（SC）3名配置。週に3日SCを配置し、児童生徒や保護者の教育相談を行った。 SC以外にも相談員1名、指導員4名を配置し学習支援や自立に向けた支援を行った。通室児童生徒は15名。3年生は全員高校へ進学できた。学校に登校できるようになった児童生徒は5人（部分登校や放課後登校を含む） ・心の教室相談員を各中学校1名配置し、生徒や保護者の教育相談を行った。 ・岡田小学校にスクールライフサポーターを配置し、担任の補助や、担任と連携を図り児童支援を行った。	○	継続	◎	・今後も感染症対策を適切に行いながら健康管理に当たられたい。
	体力向上及び健康管理の強化	・体育的行事はコロナ対策のため縮小した。（運動会の半日開催やブロック開催） ・コロナ感染症やインフルエンザ感染症対策に向けてマスク着用や手洗い、定期的な換気呼びかけた。	△	継続	○	
	基本的な生活習慣の確立と豊かな心の育成	・各校によるあいさつ運動を実施した。 ・道徳教育において感染症に関わるいじめ・中傷等を予防する視点での取り組みを行った。	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
③校種間・高等教育機関との連携						
	校種間の協力・連携	・市内一斉防災学習での小・中学校間の協力・連携を図っているが、感染防止対策として中止した。	△	継続	○	・今後も大学や外部人材等と積極的に連携しながら進めていただきたい。
	高等教育機関等との連携	プログラミング教育や遠隔教育において大学や企業との連携を図った。	○	継続	◎	
2 安全でいきいき学べる教育環境の創造						
①学校教育環境の整備						
	いきいき学べる教育環境づくり	【市立学校の適正配置の検討】 ・児童生徒数の推計等の試算を行い、公共施設等運用戦略会議において、方向性の検討を行った。それを踏まえて、令和3年度から「常総市立学校適正配置実施計画検討委員会」を設置し、市内19校を対象とした学校適正配置の議論を開始する。小中学校保護者を対象とした適正配置に関するアンケートを実施する。今後は、未就学児を対象としたアンケートも実施予定である。	○	喫緊の対応が必要な大花羽小学校及び鬼怒中学校のそれぞれの統合に向けた調整を行いながら、長期的な視点での学校適正配置の検討を進めていく。	◎	・少子化がますます進み学校の適正配置（統廃合）問題は、保護者の原風景が崩壊してしまう一面もあるので、地域住民との真摯な議論を行う必要がある。今後、常総市立学校適正配置実施計画検討委員会で相互理解を深める議論を図られたい。 ・学校は安全安心に教育活動が行える環境でなければならないので、計画的、定期的、恒常的に安全点検を実施し、事故のない環境整備を図られたい。さらに、災害時の避難場所としての機能を有する設備も必要と考える。
	学校の安全対策の強化	・危険箇所及び老朽化した施設の修繕及び工事を実施した。 修繕工事件数：幼稚園 14件 小学校 176件 中学校 71件 修繕工事費：幼稚園 1,072千円 小学校 24,902千円 中学校 10,047千円	○	修繕予算の確保に努めるとともに、適正配置計画及び長寿命化計画に準じた校舎等の改修を進めていく。	◎	・コロナ禍を有効に利用し、GIGAスクール構想を推進しリモートによるオンライン授業を展開しITC環境の整備を進めていただきたい。
	学校情報化の推進	【GIGAスクール構想の推進】 ・1人1台端末整備 小学校：251,075千円 中学校：139,198千円 ・学校ネットワーク整備 小学校：156,457千円 中学校：65,674千円	○	令和2年度に整備したGIGAスクールパソコンの効果的な活用方法を、指導課及び学校と協議しながら、引き続き検討していく。	◎	・通学路の定期的な安全点検、ヒヤリハット地図の作成配付、110番の家の設置図等は、児童生徒の安全確保にとって必要な取り組みと考える。作成した資料は、各保護者に配付が望ましい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	備品等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・一般備品購入 13,674千円 ・教材備品購入 15,047千円 ・図書購入 5,912千円 	○	継続	◎	
	通学環境の整備	「常総市通学路交通安全プログラム」に基づき、各学校の通学路の危険箇所を洗い出した。コロナウイルス感染症の影響により、書面により通学路安全推進会議を開催し、関係課単独による点検を実施し対応策を協議した。危険箇所のうち4箇所について安全対策を実施、3箇所について令和3年度実施予定。	△	関係機関や関係課と連絡を密にし、通学路の安全確保に努める。	○	
	就学支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由による就学困難な児童及び生徒の保護者に対する就学援助を行った。 ・昨年度に引き続き、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行った。 	○	文書管理や事務手続の効率化を図りつつ、継続したい。	◎	
	学校事務の共同実施の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・共同実施も8年目になり、それぞれが自分の立場や役割を理解・自覚し、積極的に活動できるようになった。 ・今年度も市内2つの共同実施グループに分かれ、事務書類の相互検閲、当市初赴任者や経験の浅い事務職員への支援、市会計や年末調整・学校長集金についての研修を行い、スキルアップに繋がった。 ・年度当初のテーマ「学校事務の効率化と事務職員の資質向上」のとおり、効率化及び正確性を追求した活動ができた。 	○	文書管理や事務手続の効率化を図りつつ、各校の事務職員と連携できるよう、事業を継続したい。	◎	
	②防災・安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校において「危機管理マニュアル」を随時見直すと共に、洪水・火災・不審者等を想定した避難訓練を計画・実施した。 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年に豪雨被害を経験しているが、時間の経過とともに記憶が風化し、さらに危機意識が希薄になっているため、防災・安全教育をカリキュラムに位置づけて、恒常的に取り組んでいただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	③地域と連携する学校運営	・「学校評議員制度」により各学校において地域の関係者が学校評価に関わり、客観的な外部評価や意見を取り入れ、学校運営上の課題の把握と改善に努めた。	○	継続	○	・学校の理想の姿は、地域に愛され、期待され、信頼される姿である。学校評議員制度を通して地域の意見を取り入れての学校経営が理想である。

3 市民の豊かな暮らしを支える生涯学習の推進						
①生涯学習の充実						
	推進組織づくり	・地域女性団体連絡会をはじめ社会教育諸団体への活動支援。 ・地域連携事業における地域で活躍する人材の確保および指導者としての活用。	○	継続	◎	・市民が安全に利用できるよう今後も施設の点検・整備・修繕等を計画的に行っていただきたい。 ・コロナ感染症感染防止のため多くの事業が実施できなかったが、次年度に向けて新たな事業等の検討を進められたい。
	学習情報の提供	・広報紙やホームページ、全戸配布チラシを活用し、講座の受講生募集やイベントの案内情報を提供。 ・各施設の利用団体（サークル）をリスト化し、各施設へ掲示したほかホームページや講座募集チラシに掲載して紹介。 団体数 116団体（R2.4.1時点）	○	継続	◎	
	学習施設の機能充実	交流拠点としての整備や老朽化による不良個所の修繕を実施。 <地域交流センター> エアコン改修工事、自動ドア改修工事 <生涯学習センター> 空調設備更新工事 <公民館・集会所・文化センター> 公民館消防設備修繕工事 石下文化センターエアコン更新工事	○	計画的に修繕を実施していく。	◎	
	施設の有効利用	各種講座・イベント・団体の研修等による利用のほか、学習成果の発表・展示の場として施設を活用。 ・公民館： 46,647人（12館） ・集会所： 667人（3館） ・生涯学習センター：21,542人 ・地域交流センター：14,307人 ・文化センター：10,741人（4館）	○	引き続き施設の有効利用を図る。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	学習プログラムの提供	新型コロナウイルス感染症の拡大により、前期講座は募集せず、後期講座（しめ飾り作り・初心者ウクレレ・リフレッシュ体操・常総市を知ろう・かんたんDIY）のみの開催となった。 受講者計：160人	○	継続	◎	
	自主企画の推進	地域交流センターホールを会場に自主事業の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施出来なかった。	△	コロナの影響により実施出来なかったが、継続する。	×	
	地域課題対応の活動推進	市内小中学校(19校)のほか公立幼稚園(3施設)、私立保育園(1施設)において家庭教育学級を資料配布により開催した。	○	継続	○	
	公民館活動の推進	公民館まつりの開催及び各公民館バスハイク等の自主事業の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施出来なかった。	△	コロナの影響により実施出来なかったが、継続する。	×	
②地域文化の醸成						
	文化芸術振興基本計画の推進	既存事業の継続と情報発信を実施	○	継続	○	・コロナ感染症が収束しない中でも長塚節文学賞が実施できてよかった。
	文化事業の推進	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市民文化祭・芸術文化のつどいは中止。	△	継続	×	・再生できない郷土遺産の保全のため歴史文化的資料（民俗資料館の資料や長塚節関係等）についてもデジタル化をさらに進めていきたい。
	地域文化情報の発信	第23回長塚節文学賞 (応募作品数) 短編小説部門 148点 短歌部門 3,174点 俳句部門 4,704点	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	郷土遺産の調査・保護の充実	国指定重要文化財「坂野家住宅」の主屋や表門の屋根の修繕について工事業者と設計管理業務契約を締結し、県に文化財関係補助事業の交付申請を行った。 ・市内指定文化財等件数 (令和3年3月31日現在) 国指定：1 県指定：9 市指定：53 国登録：3	○	継続	◎	
	歴史文化等資料の整備と情報提供	常総市デジタルミュージアムによる情報発信を継続。	○	継続	◎	
③青少年の育成						
	関係機関・関係団体との連携	青少年相談員会による街頭指導活動や、茨城県青少年育成協会による事業等、一部、縮小しての事業実施事例もあるが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から連携事業のほとんどが中止となった。	△	継続	○	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症の拡大により中止の事業が多かったが、次年度に向けて事業の見直しや新たな方法の検討をされたい。 ・子どもを守る110番の家については、必要な時に活用できるよう年度当初に実際に歩くなどして子供と場所の確認等をする必要がある。
	育成組織の強化	青少年健全育成のための活動支援については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、「少年の主張大会」や「子どもまつり」等、支援対象事業のほとんどが中止・縮小となった。	△	継続	○	
	学校・家庭・地域との連携	放課後子ども教室事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、全ての教室の実施を見送った。	×	継続	×	
	活動企画の充実	活動企画については、新型コロナウイルス感染症に見通しがつくまで、新規事業の実施等については見送っている。	×	継続	×	
	地域環境の改善	「子どもを守る110番の家」の登録拡充を図り、安全な地域づくりを推進。 登録状況：941件	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
4 市民の健康を増進する生涯スポーツの振興						
① スポーツ施設の有効利用						
	スポーツ施設の整備	【指定管理施設整備事業】 ○水海道総合体育館 3件 514,800円 ○きぬ温水プール 2件 5,137,000円 ○石下総合体育館 4件 102,851,088円 ○石下球場 2件 532,324円 ○吉野サン・ビレッジ 1件 70,730円 合計 109,105,942円 【指定管理外施設整備事業】 ○豊岡球場 1件 17,300,000円 ○天満運動場 2件 86,588円 合計 17,386,588円	○	指定管理者との連携を密にし、利用者への安全、安心なスポーツ環境の提供と満足度の向上を目指し、計画的に整備事業を継続。	◎	・整備された施設で、安全安心にスポーツをエンジョイできることは、市民として喜ばしいことである。最も身近な学校施設の開放は大歓迎である。学校施設の積極的な開放を継続していただきたい。 ・経費削減、施設管理、専門的な指導等メリットの多い指定管理者制度を有効に活かし、市民の健康の増進を図られたい。
	学校体育施設の開放	○開放対象施設 ・小学校14校、中学校5校 ○開放時間 ・小学校体育館 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・小学校校庭 平日 18時～22時 (大生小・飯沼小のみ) 土日祝 8時～17時 ・中学校体育館・武道館 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・中学校校庭 土日祝 8時～17時 ○利用団体数 68団体 ○利用者 ・体育館 42,009人 ・校庭 6,099人 ・武道館 5,032人	○	新型コロナウイルス感染症対策により休館せざるを得ない状況が続きましたが、今後も利用者は増加していくものと思われるため、コロナ対策を十分に行い円滑な開放事業の運営を継続。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	施設管理・運営体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者による施設の運営管理 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設の利用者数 150, 271人 ※対前年度 58% ・自主事業（スポーツ教室及びスポーツイベント）開催実績 年間48教室開催 参加者数 11, 463人 ○指定管理者による施設整備実績 <ul style="list-style-type: none"> ・整備件数 52件 ・整備経費 2, 808, 629円 ○指定管理料 97, 750, 000円 	○	新型コロナウイルス感染症対策により休館せざるを得ない状況が続きましたが、今後もより多くの市民がスポーツを身近に感じられるよう協力し、コロナ対策を十分に行い継続。	◎	
	②指導者・活動団体への支援 指導者への支援と確保	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ推進委員活動 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 @30, 000円×16人=480, 000円 ・活動内容 <ol style="list-style-type: none"> ①全国スポーツ推進委員研究協議会 ②市民歩く会 ③その他 各種研修会への参加 ※新型コロナウイルス感染症対策により全ての活動が実施できなかった。 ○スポーツ少年団指導者育成及び確保 <ul style="list-style-type: none"> ・県スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会への参加促進 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染対策のため未開催。 ○スポーツ教室における指導者活用 <ol style="list-style-type: none"> ①柔剣道教室(体育協会石下柔道部, 石下剣友会指導者) ②レディースゴルフ教室(体育協会ゴルフ部) ③健康水泳教室(スポーツ推進委員) ④ジュニアハンドボール教室(スポーツ少年団ハンドボール指導者) ⑤太極拳教室(体育協会太極拳部) ⑥卓球教室(体育協会卓球部) 	○	市内各種スポーツ団体に対し、スポーツに係る情報を積極的に提供し、指導者の育成と資質の向上に努める。更に主催するスポーツにおいて、市内スポーツ団体の指導者を積極的に活用することで、地域の人材育成と指導者の確保を図る。	◎	・参加者の安全性が保証されて、スキルを向上させるためには、専門的知識を身に付けた指導者が大切である。指導者の養成の継続を進めていただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	活動団体への支援	<p>常総市体育協会及び常総市スポーツ少年団の事務局として、加盟するスポーツ団体や会員の交流並びに自主事業の運営を実施。 また、団体運営のための補助金申請事務を実施。</p> <p>【補助金交付額】 ①体育協会 2,000,000円 ②スポーツ少年団 1,000,000円</p> <p>【加盟団体数及び会員数】 ①体育協会 36団体 1,888人 ②スポーツ少年団 33団体 725人</p>	○	<p>少子高齢化の進む中、自主的な組織運営が図られ、会員の増加に向け継続的に支援を実施する。</p>	◎	
	総合型地域スポーツクラブへの支援	<p>○活動施設の確保 ・学校体育施設の利用許可 ・社会体育施設の優先予約</p> <p>○活動事業への支援 ・スポーツクラブ主催事業のお知らせ版への掲載</p>	○	<p>今後も活動のPR等による支援を継続。</p>	◎	
③スポーツ活動の促進						・各スポーツ団体は、スポーツを通じて市民相互の交流が深化され、地域の活性化に繋がるメリットがある。各団体の自主活動をより活発にするために物心両面の支援活動の継続が望まれる。
	生涯スポーツの普及	<p>○スポーツ教室の開催 ・開催教室募集定員 640人 ・参加者数 362人 ・参加率 56.6% ・事業費 1,100,000円</p> <p>【スポーツ普及分野】 ①ジュニアゴルフ教室 (8人) ②ジュニアバドミントン教室 (30人) ③卓球教室 (24人)</p> <p>【健康推進分野】 ①健康水泳教室 (年間17日間 280人) ②アクアビクス教室 (13人) ③ノルディックウォーキング教室 (7人)</p>	○	<p>開催する各種スポーツ教室の種目が定着し、応募者の低下傾向にあるため、今後は市民のニーズに合った新たな種目を検討し実施する。</p>	◎	
	スポーツイベントの開催	<p>・新たなプログラムを検討し、常総市体育協会、常総市スポーツ推進委員、指定管理者、市の共催で行えるような活気あふれるイベントを計画したが、新型コロナウイルス感染対策により実施まで至らなかった。</p>	△	<p>計画までは検討したが、実施できなかったが、今後も継続。</p>	○	
	自主企画の推進	<p>○市内各種スポーツ団体への活動補助金交付 (7団 115,000円)</p>	○	<p>継続。</p>	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	競技スポーツの振興	<p>○第1回いきいき茨城ゆめ国体開催記念中学校ハンドボール大会開催</p> <p>※新型コロナウイルス感染対策のため未実施。</p>	×	地域の特色あるスポーツとして、大会運営の演出を工夫し、更なる充実と競技力向上に向け継続。	×	
5	健康を増進する食育の充実	<p>・児童生徒一人一人が健康な生活を送るために必要な栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、郷土への関心を深め、自然の恵みや働く人々への感謝の心を養うために地産地消の推進を実施した。</p> <p><給食提供数> 豊岡12校 1日3,158食:年182回 玉 10校 1日2,891食:年183回 (下妻市3校 1日784食)</p> <p><献立内容の充実></p> <p>・給食主任献立会議を行い、児童生徒や学校の要望を取り入れ献立の充実や給食業務の改善を行った。</p> <p>・市内統一献立や行事食、郷土料理、世界の料理、リクエスト献立などを給食に取り入れ内容を充実させるとともに、日本や世界の優れた伝統的な食文化についても理解するよう啓発した。</p> <p>・「県産和牛等及び県産水産物学校給食提供緊急対策事業」を活用し、常総市産常陸牛や茨城県産ひらめ等を給食に取り入れた。</p>		継続		<p>・地産地消を推進し、献立内容の充実した安全安心な学校給食の提供を図りたい。</p>

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	①学校給食の充実	<p><地場産物会議> 各センター一年11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常総市産 米 100% 野菜・穀物・肉等含む食材全体 豊岡 43% 玉 45.5% <p>・野菜や生産者を学校掲示物や校内放送で紹介した。</p> <p><調理等業務の民間委託></p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊岡センター調理等業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託期間 5年 (H29.1.1~R3.12.31) 委託料 年間 77,380千円 (税込) (車両代, 3台分含む) 委託業者 イートランド (株) ○玉センター調理等業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 契約期間 3年 (H30.4.1~R3.3.31) 委託料 年間 68,849千円 (税込) 委託業者 葉隠勇進 (株) <p>※週, 月ミーティングの実施</p> <p>※委託業者による調理, 配送員の衛生講習や技術研修の実施及び報告</p> <p>※委託業者による巡回指導の実施</p>	○		◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	②安全・安心な学校給食の提供	<p>「学校給食衛生管理基準」等に基づいた衛生管理や保菌検査を実施し、食中毒発生を防止した。新型コロナウイルス感染症に対応した学校給食での衛生管理について「常総市学校給食対応マニュアル」の指導資料を作成した。給食食材においても安全安心な食材の購入や放射能測定検査を実施し、市ホームページに公表した。</p> <p><衛生管理></p> <p>○衛生検査（食材、ドア、手指、落下菌等） ・県薬剤師会検査センター 各センター年3回実施 検査手数料 各センター216千円</p> <p>○害虫等駆除 各センター年12回実施 委託料 豊岡センター695千円 玉センター 607千円</p> <p><保菌検査> 対象者：センター職員、給食業務従事者（学校を含む）</p> <p>○保菌検査（5項目） 毎月2回 （赤痢・腸チフス・パラチフス・O157・サルモネラ）</p> <p>○ノロウイルス（10～3月） 毎月1回 ・豊岡センター 32人、1,182千円 ・玉センター 26人、1,051千円 （下妻市 6人分含む）</p> <p><安全安心な食材の使用></p> <p>○食材の成分表や原産国、生産国を確認し、安全安心な食材を購入した。 ・入札 各センター 年間22回 統一 年間 3回</p> <p>○放射能検査（市ホームページで公表） ・野菜 月10回程度 ・全品検査 月 4回</p>	○	継続	◎	<p>・「学校給食衛生管理基準」，「学校給食対応マニュアル」に則り，衛生検査，保菌検査を徹底し，食中毒が発生しないよう学校給食の提供を図りたい。</p>

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<p><施設・調理器機の更新、修繕> 施設や調理器機について適宜修繕・更新を行い、継続して安全に給食を提供した。</p> <p>○豊岡センター 更新 コンテナ洗浄機 18,920千円 修繕 48件 4,607千円</p> <p>○玉センター 更新 蒸気回転釜 6,930千円 配送用コンテナ 1,650千円 さいの目切機 737千円 修繕 36件 8,122千円</p>				
	③学校・家庭・地域との連携	<p>・栄養教諭による家庭教育学級や栄養士による給食時間の訪問指導など、学校・家庭・地域社会を含めた連携により、食生活に対する正しい知識を持った児童生徒の育成や、保護者に食習慣の形成と健康づくりについて啓発・推進を行った。</p> <p><栄養教諭による食育指導の実施> 小中学校における食育をさらに充実していくために、発達の段階に合わせた栄養教諭による食育指導を実施した。</p> <p><情報の提供> 地場産物や季節に合った食の最新情報や全国の郷土料理などを献立表に掲載し、給食時間の校内放送用の資料を提供した。</p>	○	継続	◎	<p>・学校、保護者、給食センターの連携を密にし、児童生徒のプライベートな特徴（各家庭の食生活の様式、基礎疾患や食物アレルギーの有無、宗教上の問題等）を把握して対応し、楽しい学校給食にしていきたい。</p>

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	④食物アレルギーへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・献立表へ使用食材を記載し、希望者に「アレルギー配合表」を配付し情報を提供した。 ・就学前児童に食物アレルギー調査を行い「食物アレルギー対応マニュアル」を活用し対応した。 ・学校、保護者、給食センターによる三者面談を実施した。 <p><食物アレルギー該当者></p> <p>豊岡センター 28人 ※三者面談 5人 玉センター 12人（下妻市4名） ※三者面談 7人</p> <p><みんなでスマイル給食の日></p> <p>食物アレルギーや宗教上の理由などで同じ給食を食べられない子供たちにも、みんなで一緒に食べる給食の楽しさの共有と多文化への相互理解のため、食材に配慮した給食を提供した。</p> <p>実施日 令和3年1月22・29日 給食内容 アレルゲン27品目を除き、動物性食品を含まない献立</p>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保護者、給食センターの三者面談を緊密にし、食材を配慮した献立の提供を図りたい。また、「みんなでスマイル給食の日」や「行事食」の設定は、みんなで一緒に食べる学校給食の楽しさを味わうことができるため、引き続き継続していただきたい。
6	心豊かにする読書教育の充実	①読書教育の充実	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館と学校図書館の連携を密にして、児童生徒に市立図書館の存在を示していただきたい。また、読書は理解力や情報能力を育てるのに効果的であるため、引き続きこの事業の取り組みを進めていただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②図書館活動の推進						
	市民ニーズに応えた資料の充実やサービス	<ul style="list-style-type: none"> 購入・寄贈により図書6,853冊・CD252点・雑誌127タイトル・新聞21紙を収集。うち、図書202冊、CD85点については利用者のリクエストに対応。 リサイクルフェアを2会場にて開催。のべ410人参加。 一般書・児童書コーナーにおいて毎月特集コーナーを展開した。 	○	【継続】資料の収集・整理・保存は、図書館の基本であるが、大切な業務である。	◎	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズに沿った資料収集、資料提供を図りたい。特に「読み聞かせ」、「ブックスタート」事業の継続を図りたい。市民の文化の宝庫である市立図書館のますますの充実に期待する。 二水会館の有効利用について、検討を図りたい。
	ホームページ・インターネット等を活用したサービス提供やレファレンスサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ホームページへの情報がタイムリーになるよう掲載時期に留意した。 職場内でレファレンスの実務研修を行い、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースの使用方法について奉仕係全員が習得した。 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを活用し利用者に情報提供した。 	○	【継続】多くの方に情報が伝わるように周知方法をさらに増やしたい。レファレンス業務については、職員個々の能力向上と後進の育成が急務。	◎	
	子どもの読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 年13回ブックスタート事業を実施。260組の参加者に絵本を配布。 小中学校11校の学校図書館、公立児童クラブへの団体貸出を実施。 読み聞かせボランティア育成のための研修会を2回開催し、技能向上を図った。 	○	【継続】ボランティアの高齢化と新規ボランティア獲得が喫緊の課題。	◎	
	図書館サービス網の強化	<ul style="list-style-type: none"> 相互貸借制度により、他館から179冊を借受、当館から73冊を貸出。 地域交流センター図書室を介した資料貸出。 	○	【継続】県外図書館との相互貸借についても、一定の実績がある。	◎	
	施設の維持管理と活用	<ul style="list-style-type: none"> 視聴覚室を文化団体の活動の場や常総ほっとサタデーの教室として提供。また、土日祝日や小中学校の夏季休業日は学習室として開放している。 	○	【拡充】二水会館の有効利用について検討する。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
7 安心して子育てできる就学前教育の充実						
	①子どもの自主性・自立性の芽生えを支援する幼児教育の実施	・計画訪問を行い、発達段階に応じた「遊び」を通して環境に主体的に関わっていく力の育成が図られるよう、授業参観と指導助言を行った。	○	継続	◎	・今後も計画訪問等を通して適切な助言・指導を行っていただきたい。
	②保幼小中の積極的な連携	・令和元年度より開催していた「保幼小接続のための合同研修会」及び「保幼小連携協議会」は、感染防止対策により、集会による実施を見合わせ、動画研修と保幼小間のカリキュラム等の情報交換のみ行った。	△	継続	○	・コロナ感染症拡大の中でも動画研修等工夫した取り組みが行われ評価できる。
	③就学前家庭教育の推進	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止。	×	未実施のこども園や保育所、さらには希望する企業での実施も検討する	×	・保護者を集めての家庭教育学級でなく啓発のための資料配布等も行われると良かった。
	④多様な保育ニーズへの対応	・預かり保育の実施 東部地区は玉幼稚園（玉・御城・豊田幼稚園の合同）、西部地区は岡田幼稚園（岡田・飯沼幼稚園の合同）で実施。 実施時間 平日＝教育終了後から午後6時 休業日＝午前8時30分から午後6時 〈玉幼稚園※〉 実施日数230日、利用者数43人 〈岡田幼稚園〉 実施日数230日、利用者数65人 ※玉幼稚園は、令和元年度から石下総合福祉センターで実施。	○	継続	◎	・保護者の要望に沿った預かり保育の実施は今後も継続していただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	⑤教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 石下西部統合幼稚園園舎改築工事 石下西部地区に統合幼稚園を改築するための工事を行った。 R2. 7. 17～R3. 3. 31 284,350千円 石下西部統合幼稚園園舎改築工事監理業務委託料 園舎改築工事を監理するための委託業務。 R2. 7. 17～R3. 3. 31 5,346千円 一般備品購入 1,453千円 	○	<ul style="list-style-type: none"> 東部統合幼稚園園舎の部分改修を検討する。 備品整備は継続 	○	<ul style="list-style-type: none"> 西部統合幼稚園の改築工事により施設が整えられた。東部統合幼稚園についてもより良い環境の中で保育が行えるよう保護者や地域住民の意向も活かし整備されることが望まれる。